



第5回講座
9月6日（日）
黒石フィールドワーク

高校生地域活動講座～チャレンジAOMORI！未来塾～は、主体的に活動する次世代を担う青少年を育成するため、高校生が「青森の未来に挑戦し続ける大人」に出会い、地域の価値や魅力、活力ある地域づくり等について学ぶ事業です。

9月6日（日）に黒石市北地区センターで開催された第5回講座の様子をお知らせします。

講義・フィールドワーク演習・交流会

第5回講座は、株式会社アグリーンハート代表取締役 佐藤 拓郎 氏を講師としてお迎えし、食・農業をテーマに「楽しい農業で地域デザイン！～最新の農業と夢の持ち方～」と題してご講義いただきました。

講義では、最先端のスマート農業を例に未来の仕事のあり方、そして、トマトの苗の育て方を例に「小さな場所で育てたものは小さく、大きな場所で育てたものは大きく育つ」ことから、「器（段階・時代）に合わせて自分を変えていく」ことの大切さを教えていただきました。

フィールドワーク演習では、実際に農場に移動して見学・体験しました。育った農作物や土や根に直接触れながら、佐藤氏から詳しい説明を聞いた高校生たちは、青森県の食・農業について体験的に学ぶことができました。

交流会では、佐藤氏と高校生たちが「AIのその先の未来」「スマート農業」「夢の持ち方や職業選択」など、いろいろな質問を交わして考えを深めることができました。



さとう たくろう

佐藤 拓郎氏

株式会社 アグリーンハート
代表取締役

元わっち!!レポーター。『子ども達の未来に希望をつくる』を人生产念とし、農業経営の他、ミュージシャン、観光大使、講演講師、行政委員、動画配信など様々な形で活動。代表を務める「株式会社アグリーンハート」では、経営面積88haで、楽しくカッコよく稼ぐ農業を実践。最先端技術と有機農業で市内の休耕地を再生し、持続可能な第一次産業の発展に貢献している。

【フィールドワーク演習の様子】秋晴れの空の下、大豆畑で佐藤氏の説明を熱心に聞く高校たち



青森県総合社会教育センター主催事業報告

講座全体の様子

佐藤 拓郎 氏による講義



【白米と玄米の食べ比べ体験】
ミネラルや食物繊維を多く含む
「玄米」。もちもちとした食感で香
ばしくとてもおいしかったです。



大豆畑の大豆を引っっこ抜き、根に付く小さなコブ
(こんりゅうきん根粒菌※バクテリアの一種で生育に欠かせない窒素を
大豆に供給する働きをする) を確かめる高校生たち



【「講師と話そう！交流会」の様子】
農業のイメージが大きく変わった高校生たち



塾生の感想

- ・全国の農家数が年々大幅に減少していて、将来お米が食べられなくなることを想像してしまいました。しかし、佐藤氏の講義を聞いて、スマート農業やさまざまな機械を使って未来の農業を形成していることに興味・関心をもちました。私もこれから自分の将来の仕事のあり方について考え、「何をどうしたいのか」を自分の言葉で伝えられるようになりたいと思いました。
- ・スマート農業の AI を使った発達レベルの高さに驚きました。そして AI の発達に伴い、私たちの夢の持ち方も向き合い直す必要があると感じました。自分の目標を自分で置くことの大切さも知ることができました。これから意識していくことは自分の目標をより具体的に決めることです。そのために今できることに焦点を当てるのが大人になっていく上で大事だと思いました。
- ・今回の講座を聞いて、見失いそうになっていた夢を再発見できた気がします。まだ明確ではないけれど、自分がずっと目標だったことが分からなくなってきて、とても不安だったから救われました。そして、現代社会についてまったく知らないことがわかって、これからの社会で生き残るためにもっと知っていきたいと思いました。